

国東オリーブ夏季(7~8月)の栽培管理

クプロシールド

2

倍率500~1,000倍
収穫前日まで
使用回数/制限なし



特徴

銅により菌の感染を抑える。発病した果実を治癒する力はない。ICボルドーと同様の効果だが散布しやすく、多くの薬剤と混合可能。

icボルドー66D

3

倍率50倍
使用時期・回数
制限なし



特徴

散布後は白くなるので薬の薬効を一目で見分けられる。周囲も白くなるので住宅地の近くの園地では散布は避けた方が良い。

オリーブアナアキゾウムシ、カメムシの防除(植え付け2年~)

近年ゾウムシの被害が大きく、特に11月以降にもゾウムシが発生する事例が増えています。4,6,8月に使用するスミチオン乳剤だけでは回数^{回数}が足りない^{少ない}ので、8月の使用をダントツ水溶剤かアディオオン水和剤に変更して、11月に使えるスミチオンを残すようにしましょう。ダントツ水溶剤及びアディオオン水和剤は、8月中旬以降に発生するカメムシ、ハマキムシにも効果があります。カメムシは果実の果汁を吸い、塩水漬け品種の商品価値を低下させます。



ダントツ水溶剤
果実:収穫前日
年2回以内

アディオオン水和剤
果実:収穫7日前
年2回以内



倍率:2,000倍

使用方法:散布

期間:8月

▶カメムシには
8月中旬以降が有効



果実:収穫21日前
年3回まで



ゾウムシが慢性的に発生している場合はスミチオン乳剤50倍を樹幹散布しましょう。その場合はダントツ又はアディオオンを11月に使用して下さい。

